

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年1月31日

事業所名：放課後等デイサービス ウィズ山越

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1	1	2	・個別指導や落ち着くためのスペースがあればよい。			14	4	1	・近くの公園を利用して十分なスペースを確保できるように工夫をしていく。
	2 職員の適切な配置	1	3		・現在は職員数がギリギリの状態ではある。			18		1	・その日の利用人数に応じて配置を考え、安全に過ごすことが出来るよう努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	2		・スペースが区切られておらず、集中しにくい環境ではあるが、衝立を利用して区切るようにしている。			17		2	・スペースが限られている分、衝立等を利用して、環境整備を整えていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4			・ほぼ毎日清掃を行っており、教材の整頓も可能な限り行っている。			18		1	・継続して清掃を行い、清潔に保っていく。
業務 改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4			・毎日のミーティングで改善策を考えられていると思う。						・午前中のカンファレンスで行えているため、継続して実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		1	3	・今年度第三者に外部評価の依頼はしていたが、新型コロナウイルスのため中止となる。						・新型コロナウイルスが落ち着いてきたら外部評価の依頼をする。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	2	2		・外部での研修だけではなく、事業所内でテーマを決めて研修を行った。 ・今年は新型コロナウイルス感染症のため、参加が難しかった。						・新型コロナウイルスの影響もあるが、参加出来る研修(リモート)があれば参加していく。
適切な 支援の 提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4						18		1	・色々な方の意見を取り入れ、主観的にならず、客観的に考え計画書を作成していけるよう努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3	1					17	1	1	・本人や保護者、職員の意見を取り入れ、その子に合った計画書を作成していくよう心掛ける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4									・今後も利用者一人一人に適切な計画書を作成していくことを心掛けていく。



区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	1		3							・今後も学校との連携を図っていただけるように役割分担を明確にして、協力関係を築いていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供			3	1						・移行された方はいないが、移行される方がいた場合は、詳しい情報の提供に努めていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			2	2						・新型コロナウイルスにて難しい状況ではあるが、研修の機会（リモート）があれば、参加したい。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	3		1							・近くの公園で地域の方との関わる機会があるため、その内容をもっと発信していただけるようにブログや送迎時の伝達で伝えていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営				4						・地域の方も参加出来る企画を考えていきたい。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4									・分かりやすくかつ丁寧な説明を継続して心掛けていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4									・送迎の都度、内容の説明と参加した様子の報告いただけてありがたいです。 ・出来るだけ保護者の意見を取り入れ、内容の方も分かりやすく説明していきたいよう努めていく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		3	1							・まずは職員自身がペアレントトレーニングの知識を身に付けていく。そこから少しずつペアレントトレーニングを取り組んでいく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見			
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4						19			・どんな活動をしたのか、どんな様子だったか、詳しく教えてくれていると思います。	・送迎時には必ず、その日の状況をお話して共通の理解を図っていく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	2	2					19			・ありがたいほどにとでも親身に…	・日々の送迎にて出来る限りお話は出来ている。 ・面談時にはしっかり傾聴をして、助言していけるよう努めていく。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			3	1			9	5	2	3	・今年度は新型コロナウイルス感染のため困難。 ・私が参加出来ていないのでよくわかりません。	・新型コロナウイルスが落ち着いてきたら計画を立てて実施していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4						15	1		3	・お願いはしていますが苦情を出した事がないのでよくわかりませんが、以前持ち物の貸し借りについてのお手紙と説明は受けました。	・苦情等があれば、その都度迅速に対応を行っているため、継続して実施していく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	1					16	2		1		・継続して実施していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4						18			1		・ブログは月に一度更新しているため、保護者への発信、周知に努めていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4					18			1		・職員一同一貫して個人情報の取り扱いには十分注意していく。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	2	2				18	1			・今年は感染マニュアルの変更が多かったと思いますが、学校休校に合わせてご説明やご連絡はいただいています。 ・新型コロナウイルスで休校になった際には、迅速な対応をしていただいていた助かりました。	・保護者への周知は出来ているため、引き続き実施していく。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3	1				18			1		・週末2日の利用のため、定期的に避難訓練に参加出来ない時があります。	・避難訓練の実施は出来ているため、訓練の内容はその日にお伝え出来るように徹底していく。 ・今後はコロナ対策の訓練も行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	2	2						・リモートも含め、機会があれば積極的に参加していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	1	2	1					・現在は見られないが、身体拘束を行なう場合には専用のファイルへの記載と保護者への説明に努めていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	1	1	2					・フェイスシートを一年ごとに更新し、アレルギーの把握を行っていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	1						・職員全員が、些細なことでもヒヤリハットを書く習慣を身に付けていく。